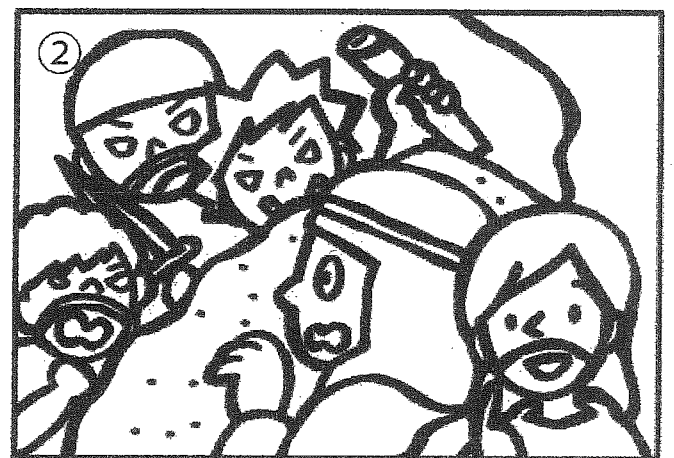
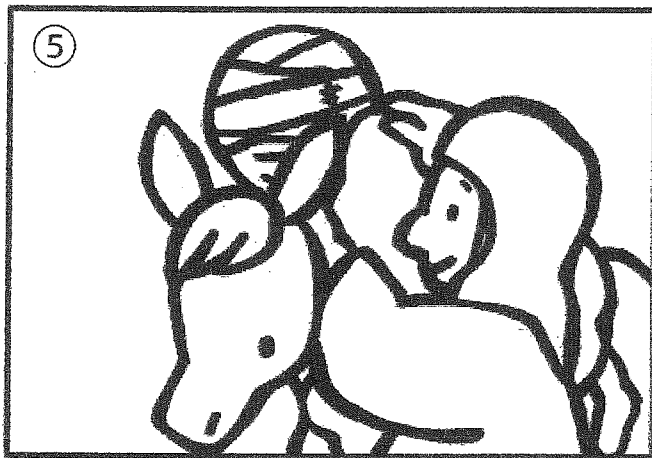
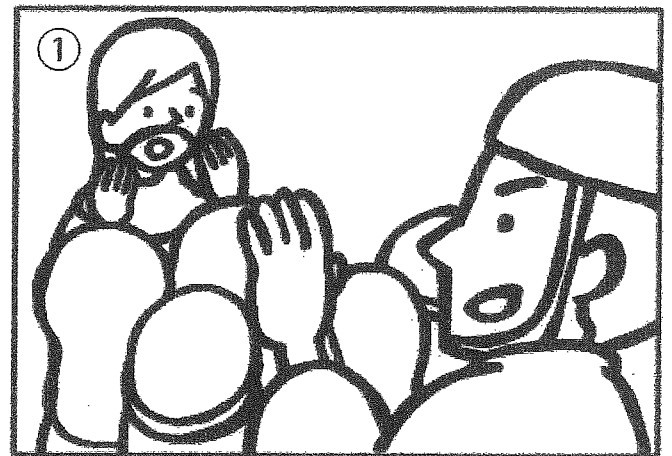


7月3日 「あなたから神の励ましが流れる」 I サムエル23・15～18

1. ダビデを何とか殺そうと企むサウル。
2. サウルが自分の命を狙ってくるのをきいたダビデ。
3. ダビデのところにやってきたヨナタン。
4. ヨナタンとダビデの間にいつも神様がおられる。ダビデを勇気づけたヨナタン。
5. 神様のみことばと祈りによって、励ましてくださる神様。
6. 神様の励ましを体験し、落ち込んでいる男の子を励ましている女の子。

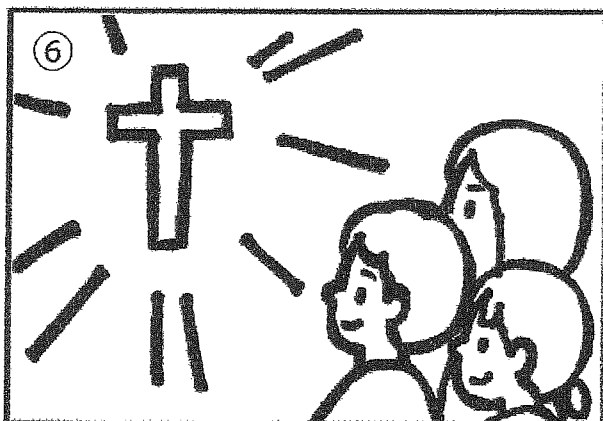
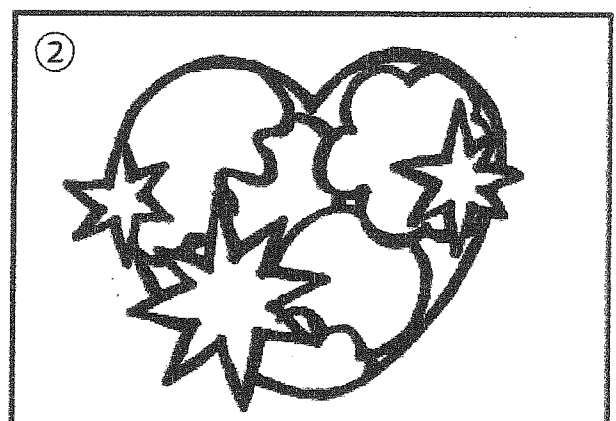
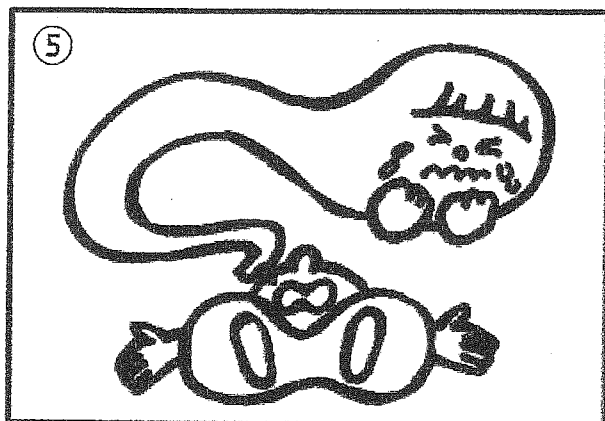
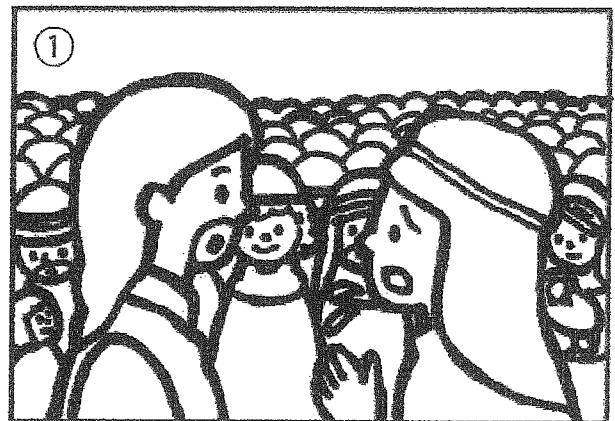
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



7月10日 親切的なサマリア人 ルカ10・25～37

1. ある律法の専門家がイエス様なら何て答えるだろう、試してやれ。という思いで質問をしました。
2. イエス様は彼の心を見抜き、たとえ話をされました。
3. 祭司が通りかかりましたが、強盗に襲われた旅人を見ないふりをして行ってしまいました。
4. 次にやってきたレビ人も走って行ってしまいました。旅人は体中が痛み、心も折れてしまい、「あ～、ここでもう死んでしまうのか…」と助かる望みなく横たわっていました。すると、次にサマリア人がやってきました。
5. サマリア人は旅人の傷を消毒し、オリーブ油を塗って包帯し、自分の口バに乗せて宿屋まで運びました。
6. あなたの隣人とは、あなたの助けを必要としている人のことです。

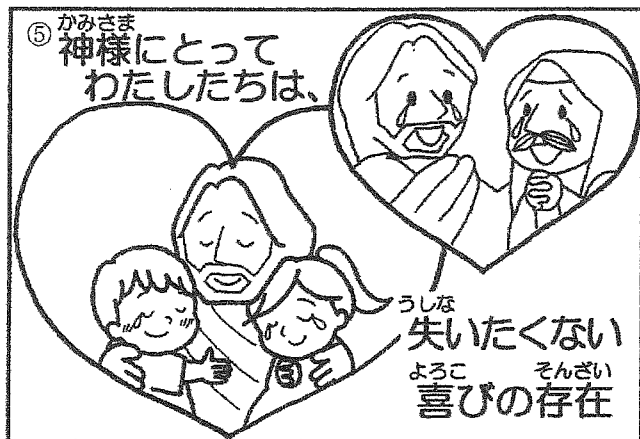
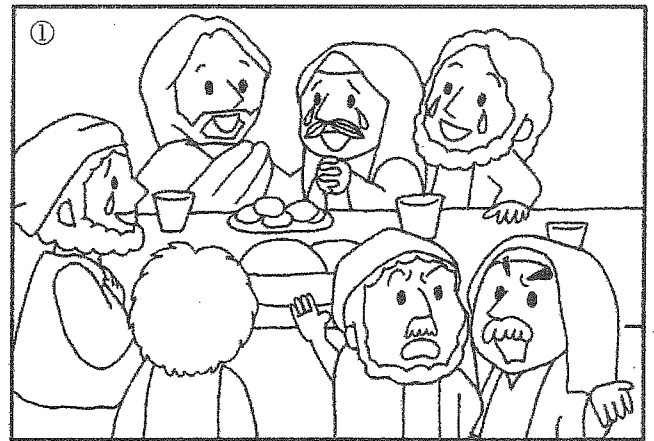
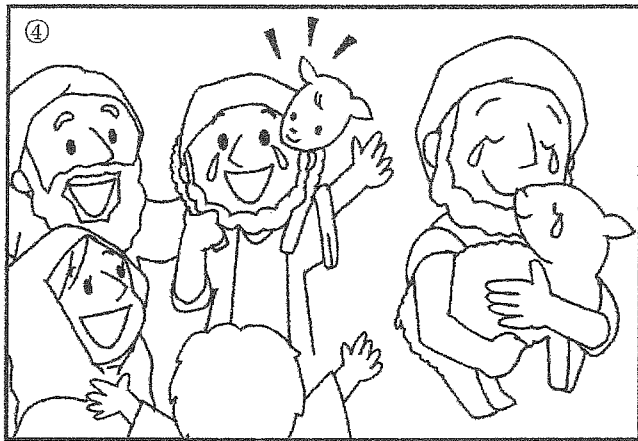
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



7月17日 おろかな金持ちの警え ルカ12・13～21

1. イエス様のまわりにはお話を聞くために多くの人たちが集まっていました。そんな人たちの一人が言いました。「先生、遺産をちゃんと私と分けてくれるように、私の兄弟に言ってください！」
2. イエス様はこう答えられました。「どんな貪欲にも気をつけ、注意なさい。」
3. 広い畑にあり余るほどたくさんの作物が実ったとき、ふつつなら「良かった～ 神様感謝します！」となるころでしょうが、この金持ちは何やら心配しています。
4. 「…わたしの倉をこわして、もっと大きいのを建て、わたしの穀物や財産はすべてそこにしまっておこう！」
5. 「しかし、神は彼に言われました。『おろか者！ おまえのたましいは、今夜おまえから取り去られます。』自分のためにたくわえても、神に対して富まない人はこのとおりです！」
6. 神様はわたしたちが生きていけるだけの必要なものを十分に与えてくださる方です。

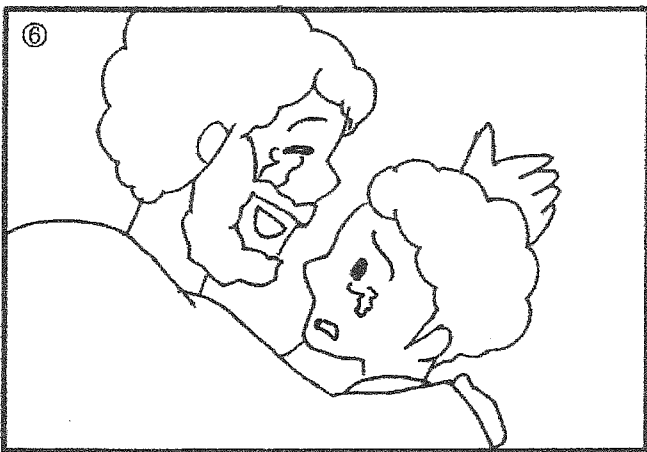
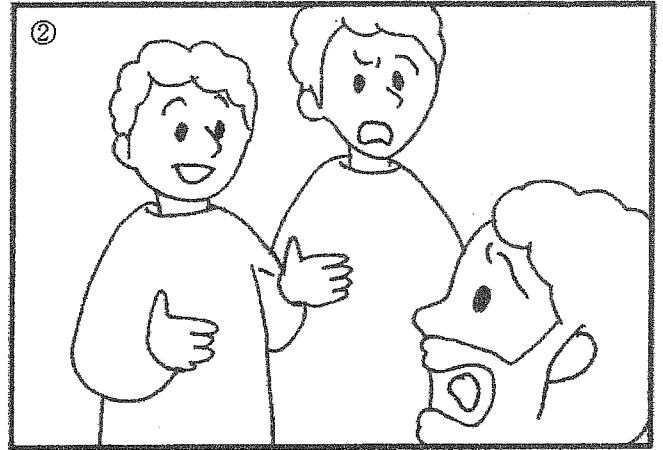
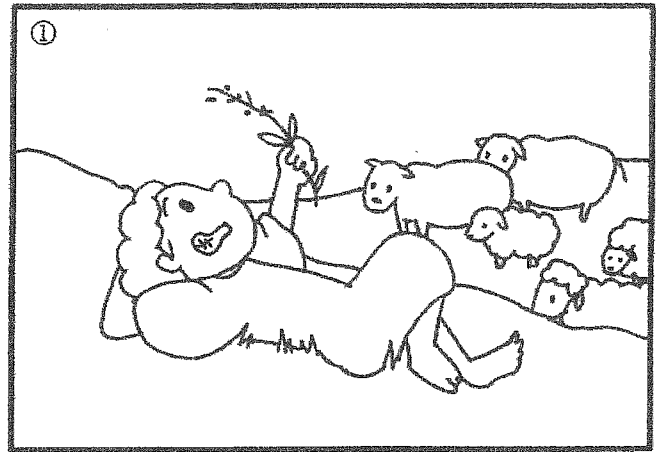
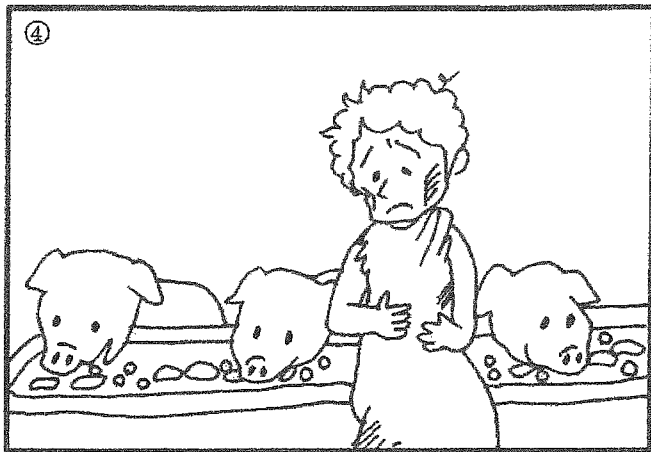
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



7月24日 「迷子になっていませんか?」 ルカ 15・1～7

1. 取税人たちは、イエス様の話を聞いて悔い改めている。律法学者たちは不平を言っている。
2. 羊飼いが、迷子になった1匹の羊を、捜している。
3. 羊飼いは、必死に迷子の羊を捜し、見つけ出した。
4. 羊飼いは、見つけた羊をがっしり抱いて、肩に乗せ、羊が見つかった喜びを、近所の人たちと共に分かち合った。
5. 神様にとって私たちは、失いたくない喜びの存在。
6. 「イエス様なんて…」と言って、迷子になっている男の子。→悔い改めて、イエス様のもとに帰った男の子と、帰ってきたことを喜んでいるイエス様。

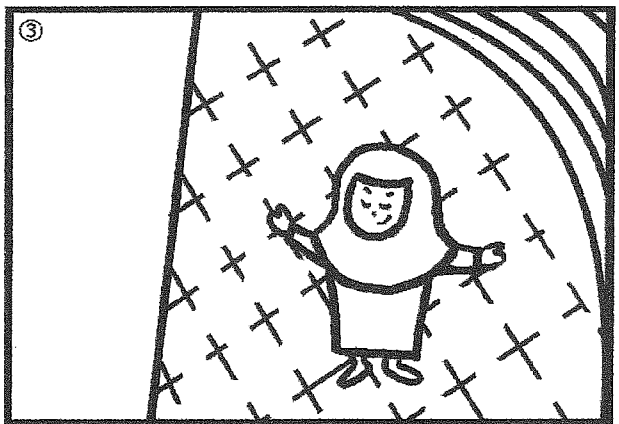
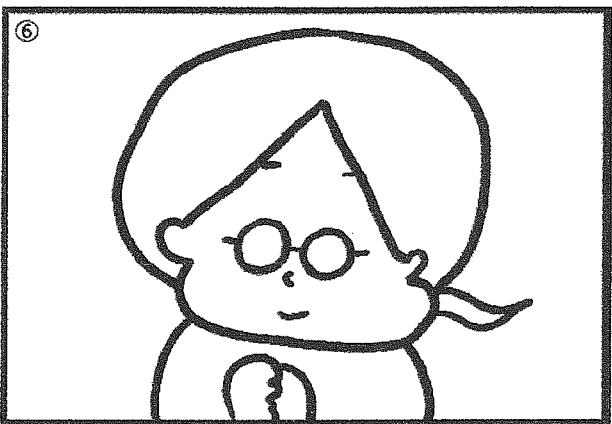
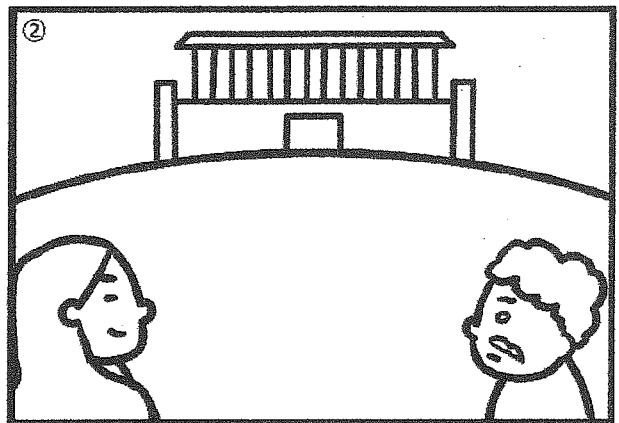
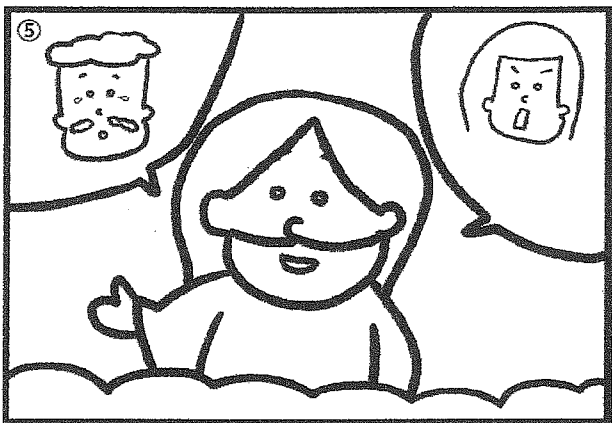
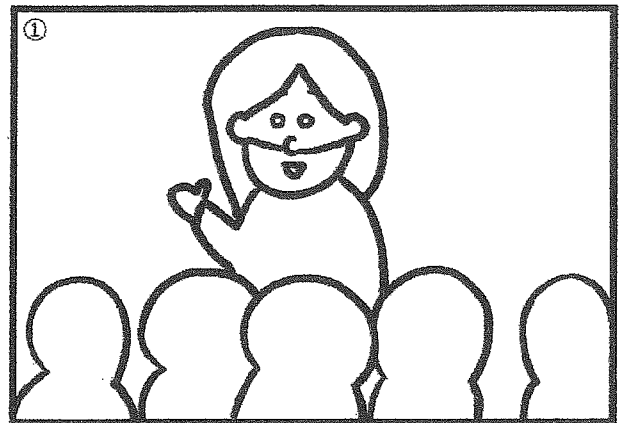
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



7月31日 「放蕩息子」 ルカ15・11～24

1. 弟息子が仕事の手伝いの途中で、何か面白いことはないかと考えている。
2. 弟息子がお父さんに、財産の分け前をくださいとお願いしている。
3. 散財している弟息子。
4. お金も食べるものもなくなってしまった弟息子。
5. 自分に気づき、父親のところにいた時のことを思い出している。
6. 帰ってきた弟息子を抱きしめる父親。

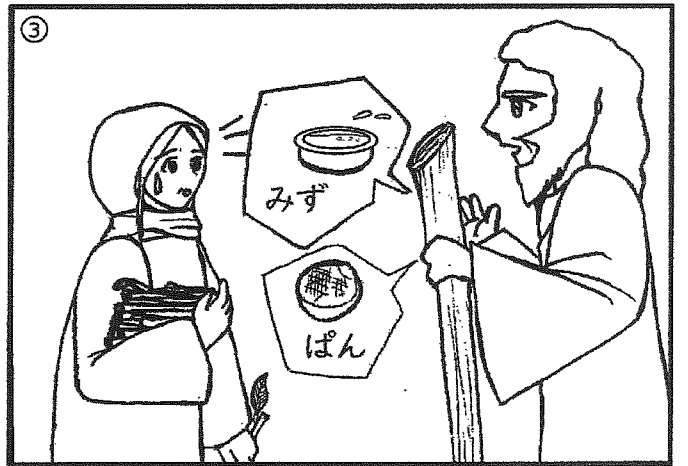
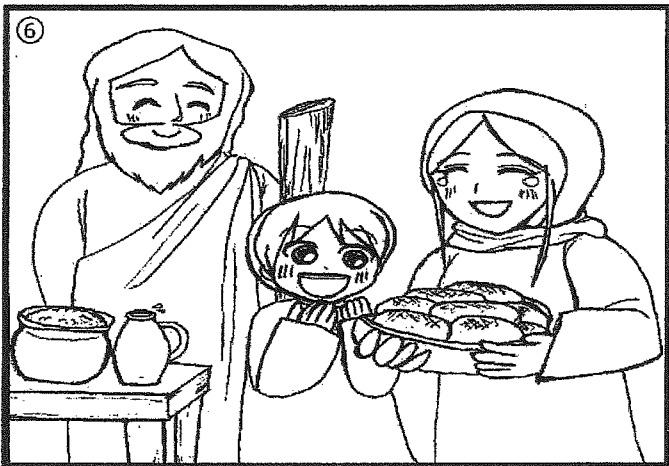
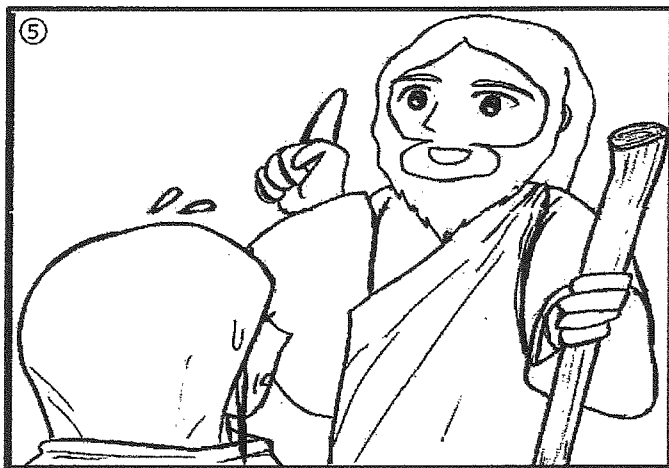
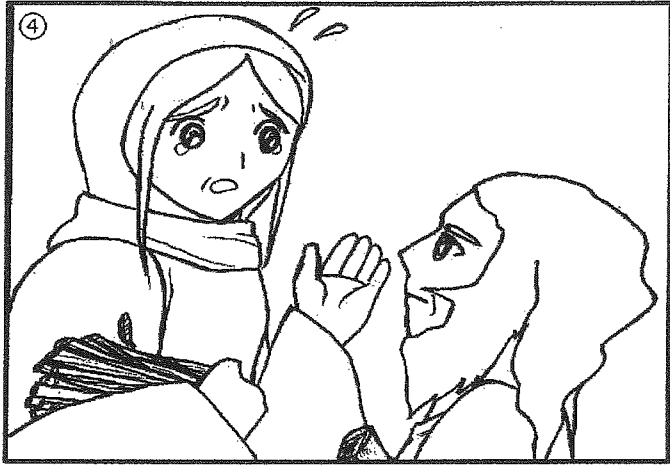
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



8月7日 「パリサイ人と取税人」 ルカ18・9～14

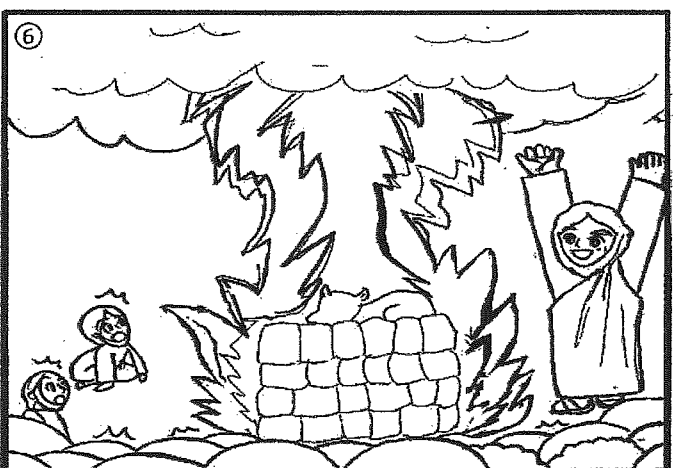
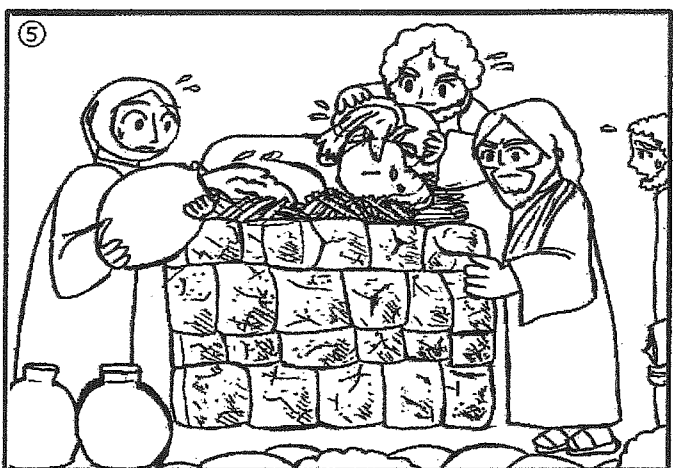
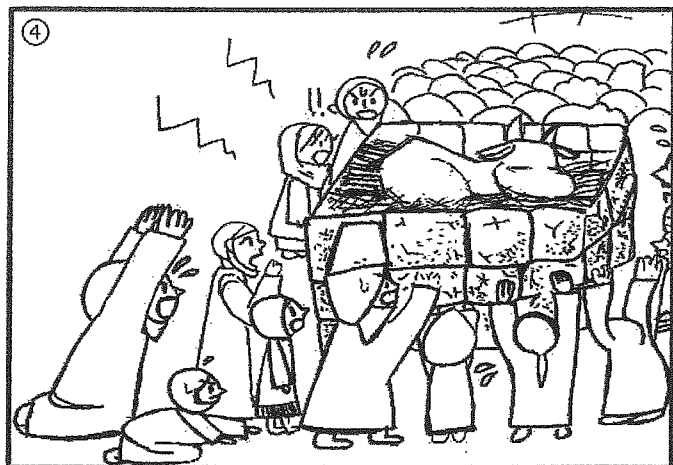
1. イエス様は、自分は正しい人だとうぬぼれている人々に、譬え話をお語りになりました。
2. 二人の人が祈るために神殿に上りました。
3. 一人はパリサイ人で、立って、心の中で、自分が正しい者であることを神様に感謝しました。
4. もう一人は取税人で、遠くに立って、自分の胸を叩きながら、神様にあわれみを求めました。
5. 義と認められたのは、取税人の方だったと、イエス様はお語りになりました。
6. 私たちも、自分の本当の姿を認め、素直に悔い改める人になりたいと思います。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を 200%拡大し、更に 141%拡大する。A3サイズは 200%拡大し、更に 200%拡大。



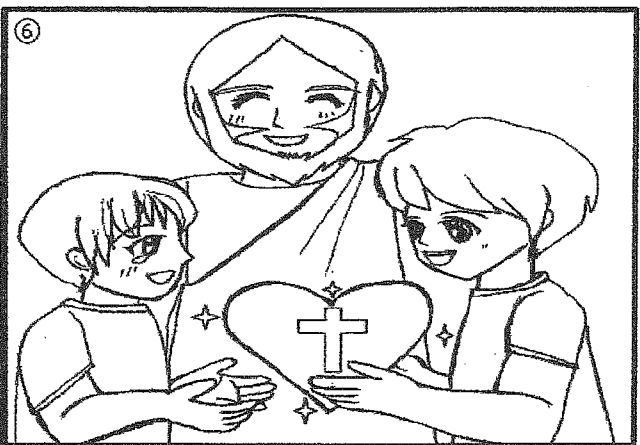
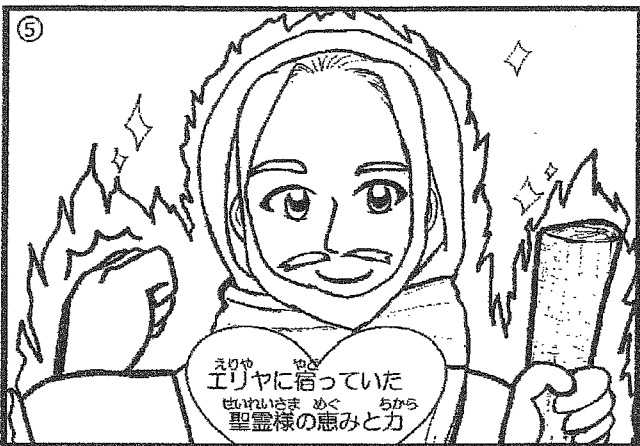
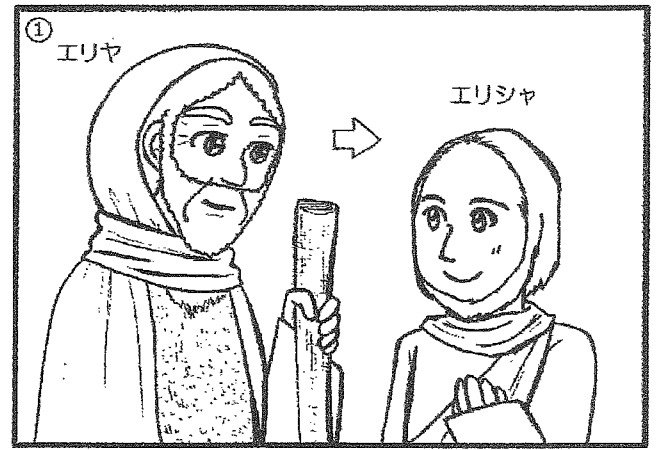
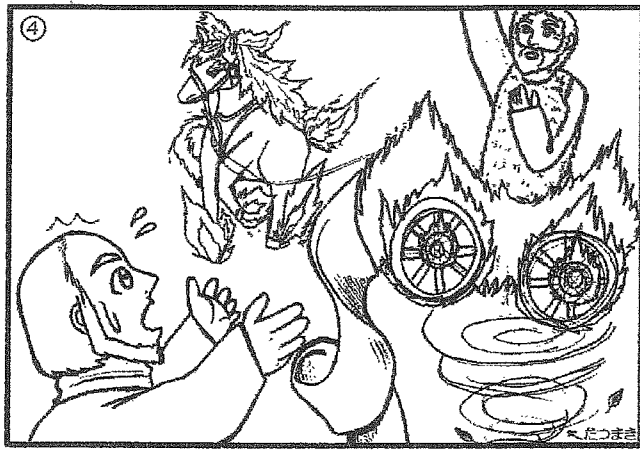
8月14日 エリヤ①生きて働かれる神 I列王17・1～16

1. アハブ王様は、イスラエルを愛し、導いてこられた本当の神様にそむいて、バアルというにせ者の神を拝み、偶像をつくり、国中の人々にそれを拝むように命令したのです。本当の神様から遣わされた預言者エリヤは「私が仕えている主は生きておられます。私が何か言わないうちは、数年、露もおりず、雨も降らないでしょう。」
2. 神様は、何羽かのカラスに、朝と夕にエリヤのところにパンとお肉を運ばせたのです。またエリヤはケリテ川の水を飲んで、生きのびることができました。
3. エリヤが神様の言われたとおりに行くと、ちょうどそこに薪を拾い集めている一人の女性がいました。「うつわに水をほんの少し分けて、飲ませてください。パンも持ってきてください」とお願いしました。
4. 女性は悲しそうに「わたしには、かめの中に一握りの粉と、つぼの中に少しの油があるだけです。今わたしは帰って行って、わたしと息子のために料理し、食べて死のうとしているのです」と答えました。
5. エリヤは「恐れてはいけません。イスラエルの神様が言われます。『主が雨を降らせる日まで、そのかめの粉は尽きず、そのつぼの油はなくなりません。』」
6. 言葉のとおり、エリヤも彼女もその家族も、毎日おなかいっぱい食べることができました。



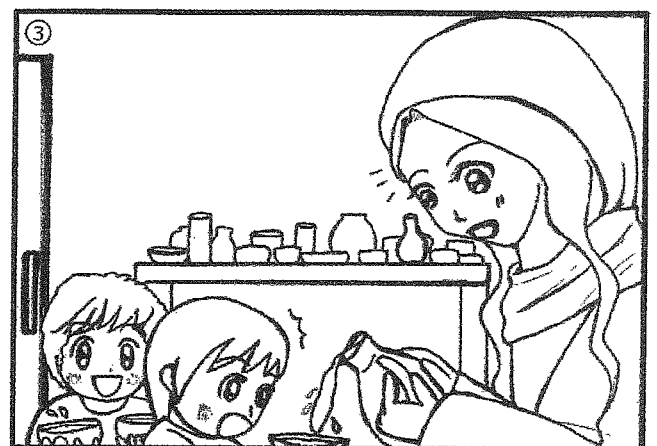
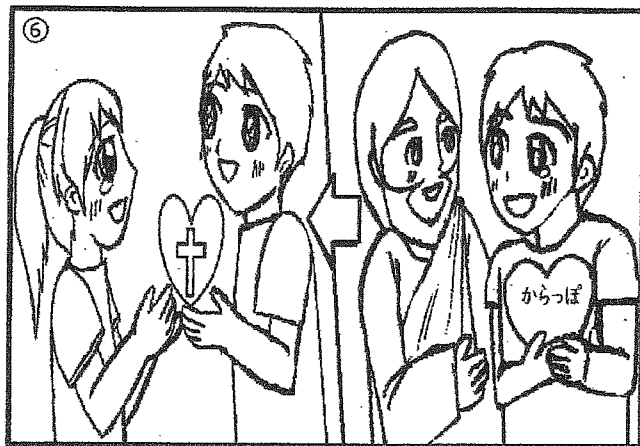
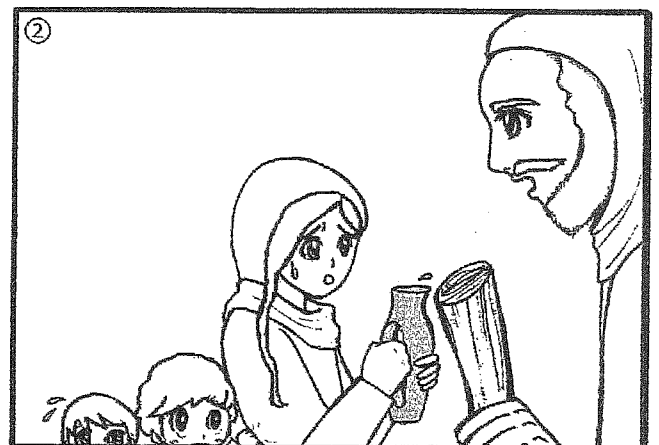
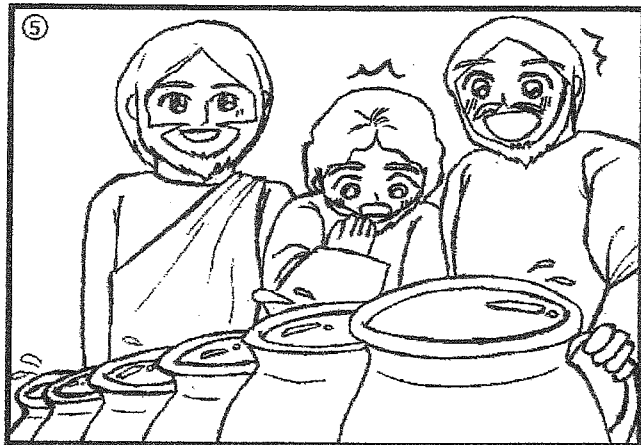
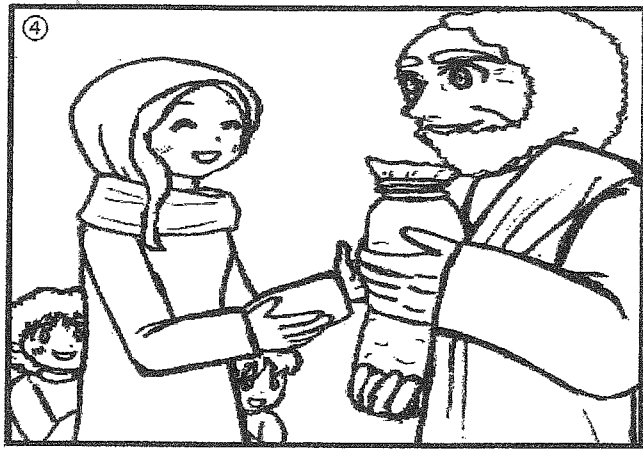
8月21日 エリヤ②火をもって答える神 I列王 18・20～40

1. イスラエルはアハブ王の時代に、バアルやアシェラという偶像の神々を拝むようになりました。それはアハブの奥さんであるイゼベルの影響です。
2. イスラエルが本当は神ではないものを拝んでいた時、その人たちの目を覚まして神のもとに立ち返るようにと遣わされたのがエリヤでした。この時イスラエルには、もう3年以上も雨が降らなくなっていました。
3. イスラエルの本当の問題は、彼らはバアルと、まことの神である主の両方を拝んでおり、これは神様がとても嫌われることです。エリヤは彼らに喝を入れました。
4. バアルの預言者たちは必死にバアルを呼びましたが、うんともすんとも言いません。
5. エリヤは壊れていた主の祭壇を建て直して、イスラエル十二部族を表す石を置きました。その回りに溝を掘って、祭壇には薪といけにえの雄牛を載せ、仕上げにたくさんの水を注ぎました。
6. 主なら火をつけることが出来るようになります。本当の神だけが、それをする事が出来るのです。



8月28日 エリシャ① 霊の二倍の分 Ⅱ列王 2・1～15a

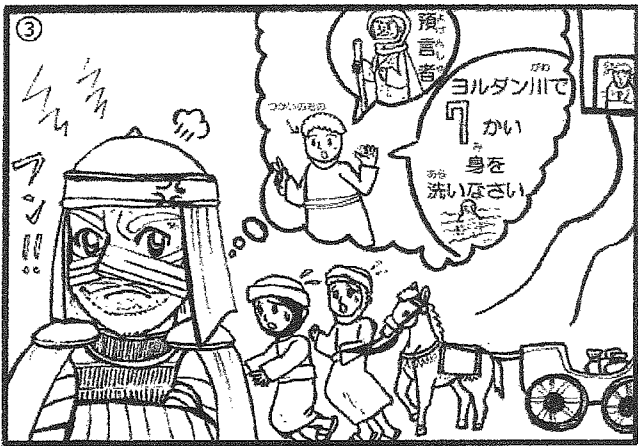
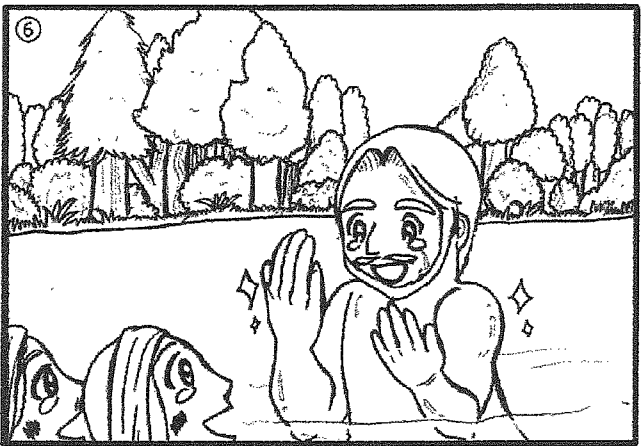
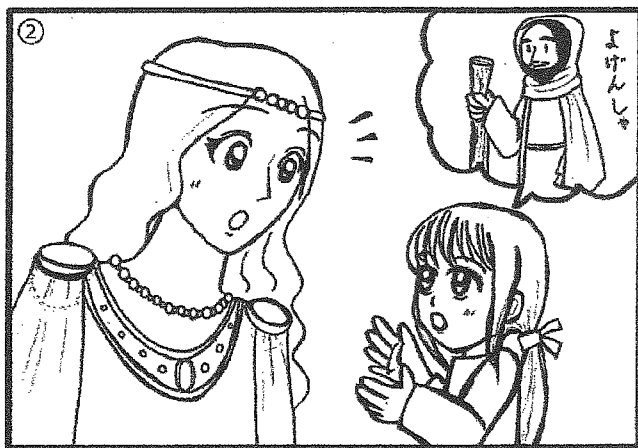
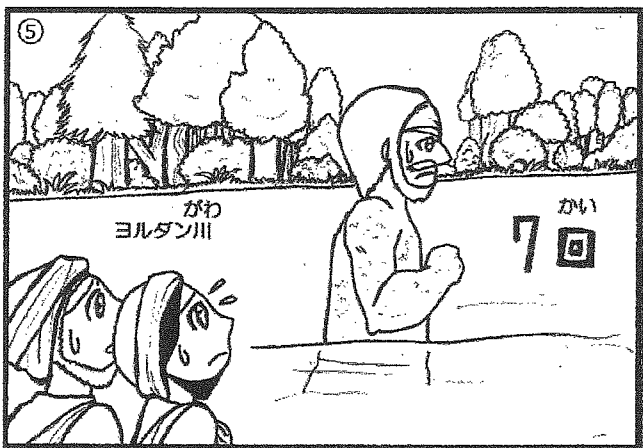
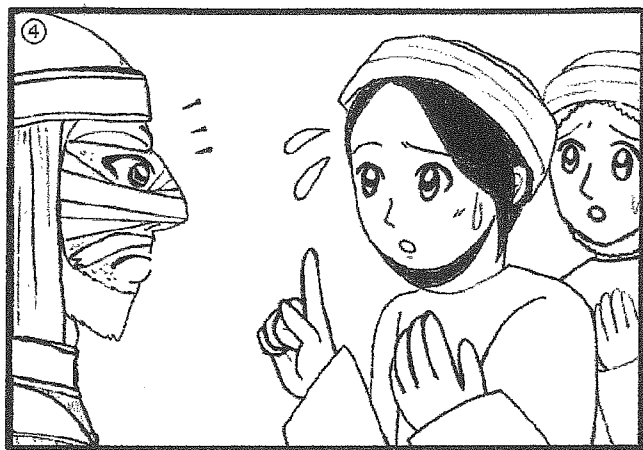
1. エリヤさんの後継者、弟子に選ばれた人、それがエリシャさんでした。
2. エリヤさんが「ここにとどまっていなさい」と何度言っても、エリシャさんは「わたしはあなたから離れませ
ん」と最後までついて来ました。
3. エリヤさんは最後に「あなたのしてほしい事を求めなさい」と言いました。するとエリシャさんは「では、あ
なたの霊のうちから、二倍の分を私のものにしてください」と言いました。
4. 間もなくエリヤさんは、天から迎えに来た「火の戦車と火の馬」に乗って、天に引き上げられました。エリヤ
さんをお父さんのように慕っていたエリシャさんは「ああ、わが父、わが父!」と泣き叫びました。
5. でもエリシャさんには、エリヤさんに宿っていた聖霊様の恵みと力がちゃんと宿っていたのです! その後、
エリシャさんは預言者としての働きを立派に引き継ぐ事となるのです。
6. 大切な事は、「イエス様を信じる信仰」をあなたが受け継ぐ事です! イエス様を信じる人には全員に、聖霊な
る神様が宿ってくださいます! そしてあなたから誰かにその信仰を渡すのです!



9月4日 エリシャ②器と油 II列王4・1～7

1. エリシャの預言者仲間が借金を残して死にました。その二人の子どもが借金のかたに奴隷にされようとしています。その死んだ仲間の奥さんが、エリシャのもとに助けを求めてやってきました。
2. その家で少しはお金になりそうなものは、油の壺一つだけです。でもそれだけではとても足りません。
3. しかしエリシャが、空の器を近所の人からたくさん集めさせて油を注ぐと、器の分だけ油が増えました。
4. 奥さんはその油を売ることによって、借金をすべて返済し、子どもを守ることができました。
5. ヨハネの福音書の2章に出て来る、カナの結婚式の披露宴で、ぶどう酒が足りなくなっていました。その時は、水がめに汲んだ水が全部ぶどう酒になったという奇蹟でした。
6. イエス様を信じる人は、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになります。そして神様から与えられた永遠のいのちへの水が、今度はみんなからわき出るようになるのです。神様がみんなのことを、世界に祝福をもたらす泉としてくださいます。空の器のまま、神様のもとに行きましょう。そして、溢れるほどに満たしていただきましょう。満たされて初めて、自分もまた神様のための偉大な働きをする者となれるのです。

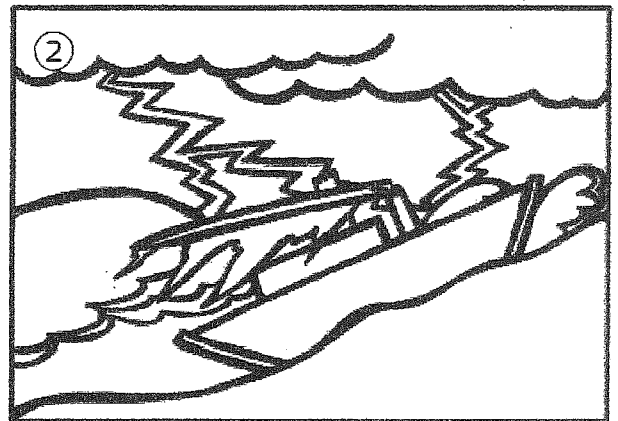
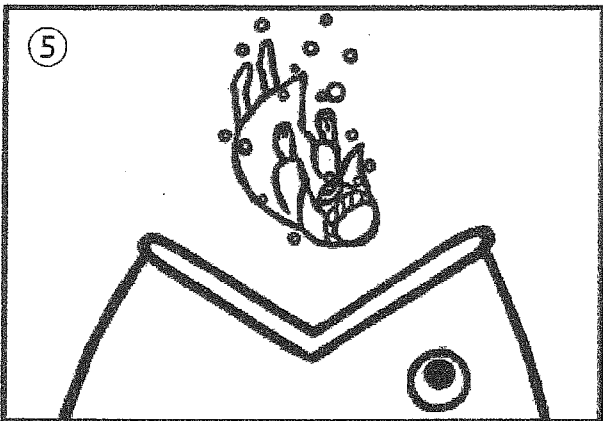
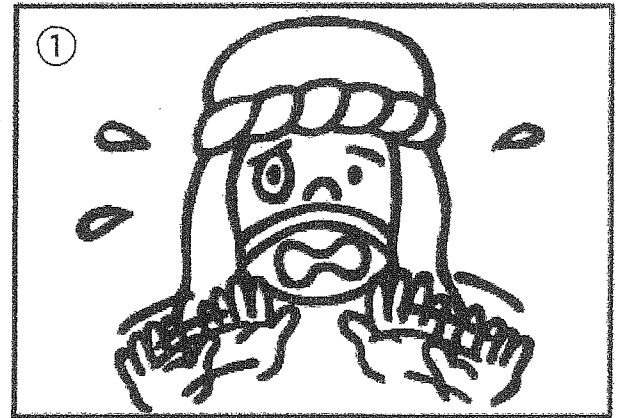
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



9月11日 エリシャ③ ナアマン将軍のいやし Ⅱ列王5・1～14

1. ナアマンはアラム王様からみとめられ、国民たちに尊敬されているりっぱな人でした。でも彼の身体中が皮膚の病気で、ただれて、痛くて、がまんできないほど苦しかったのです。この時代どんなに手をつくしても治らないツアラトという重い病気でした。
2. 以前イスラエルの地から連れて来られた、お手伝いの娘はナアマンの妻にいました。この娘のひとことがきっかけでイスラエルの預言者エリシャのことを知ったナアマン。
3. たくさんの贈り物をもって、ナアマンはエリシャのお家にまでたどり着きました。ところがそこにいたのはエリシャではなく、使いの者でした。使いの者はエリシャのことばを伝えました。「ヨルダン川へ行って七回あなたの身体を洗ってください。そうすれば、あなたの身体はもとどおりになって、きよくなります。」
4. ナアマンが怒って来た道を引き返そうとしたその時、ナアマンのしもべたちが追いついて預言者の言った通りにするように説得しました。
5. 気を取りなおしたナアマンはヨルダン川へと下って行き、一回、二回…ついに七回！水につかりました。
6. ナアマンの皮膚は小さい子どものようにつやつやし、すっかりきれいになったのでした。

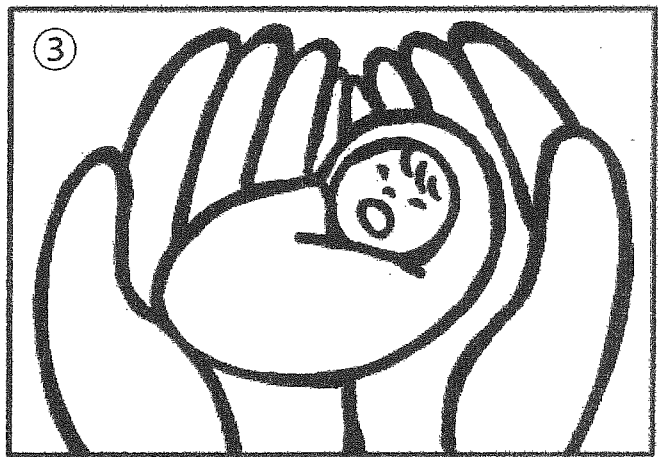
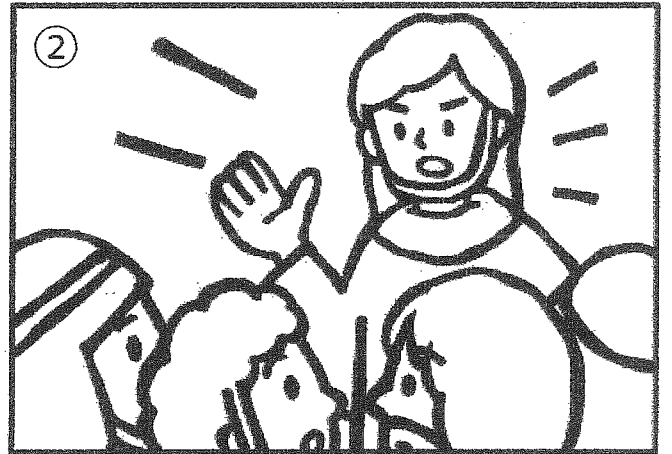
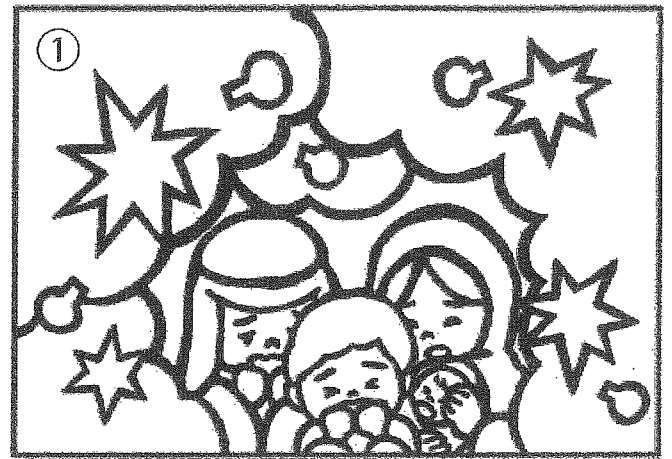
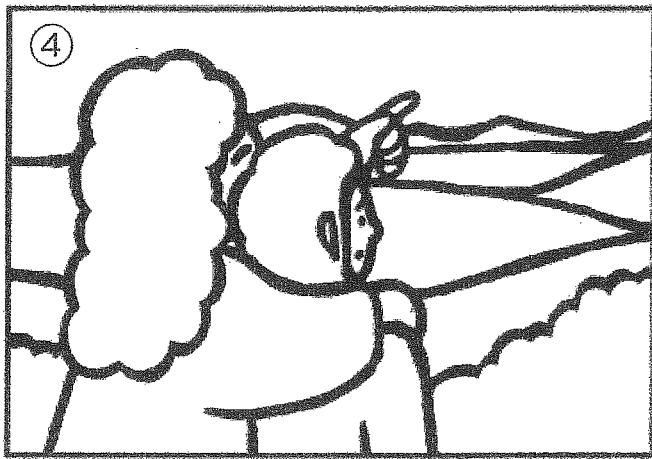
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



9月18日 神に背いたヨナ ヨナ1・1～17

1. 神様はヨナに、アッシリアという国のニネベという都に行き、神様の言葉を伝えるように言われました。
2. ヨナはニネベの都とは反対方向に行こうとしましたが、神様は大嵐を起こされ船は沈みそうになりました。
3. 船の船員たちは、「だれのせいで、このわざわいが私たちに降りかかったのか、くじによって知ろう。」と言いました。そして、くじはヨナさんに当たりました。神様が当てなされたのです
4. 「主を恐れる」とは、どういう意味でしょう？
5. 海に放り出されて海の底に沈んでいくヨナさんを、神様は大きな魚に飲ませて救われました。
6. 神様も私たちともっとお話したいと、願っておられる事でしょう。

※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



9月25日 エレミヤへの召し エレミヤ1・1～10

1. イスラエルは大きな国に挟まれ、攻められ、滅ぼされそうになっていました。
2. 預言者は神様のことばを預かって人々に伝える仕事です。
3. 神様は「わたしはあなたが生まれる前からあなたを知って、世界の国々に神様のことばを語る預言者になるように特別に選び、決めていた」とエレミヤに語りかけました。
4. 神様はびっくりするエレミヤに、「まだ若い、と言うな。わたしがあなたを遣わすから、遣わされたところに行きなさい。そして、あなたに命じるすべてのことを語りなさい。人々の顔を恐れるな。わたしがあなたといっしょにいてあなたを救い出すから」。と言いました。
5. 神様はエレミヤの口に触れて、「見よ、わたしは、わたしのことばをあなたの口に与えた」と言いました。
6. エレミヤは覚悟を決めて、預言者として、神様のことばを語る人になっていきます。

※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大